



慶應義塾大学ビジネス・スクール

桜十字病院（A）：「あたりまえ」をめざして

5

私は、なんでも直観で判断します。それで7割は正しくやってきた。7割バッターだったらすごいものでしょう。ただ、その勘がちよっと当たらなくなってきた、勘違いが多くなったかなというのが、私が口を出さなくなった理由だろうと思います。

西川通子 10

母からは「お客さんを大切にすることの大切さ」「人にスピリットを入れる入れ方」を骨にしみるほど教えてもらった。

西川朋希 15

桜十字病院の歴史

桜十字病院の起源は、1972年（昭和47年）に開設された熊本老愛病院にさかのぼる。一般病棟140床で始まった当病院は、その後病棟を積極的に増床し、1980年（昭和55年）には440床にまで拡大した。1983年（昭和58年）には、大幅な方向転換を図り、一般病棟から特例許可老人病棟への転換を進め、440床のうち330床を老人病棟とするに至った。その後は一般病棟、老人病棟双方の増床を徐々に進め、1990年（平成2年）には一般病棟273床、老人病棟427床、総計700床に至っている。

1991年（平成3年）、一般病棟を担当する林ヶ原記念病院、老人病棟を担当する熊本老愛病院に病院分割が行われるが、林ヶ原記念病院もまた一般病棟から老人病棟への転換を進め、1996年（平成8年）には林ヶ原記念病院として再統合される。当時の理事長は、自らの4人の娘がいずれも医師であったことから、地元医師会の反対に合いながら林ヶ原記念病院を総合病院として脱皮させようとして

.....
本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授 清水勝彦がクラス討議の参考のために作成したものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 清水勝彦（2013年12月作成）